

# 付知町まちづくり協議会だより

2015.7.25発行 No32

## 平成27年度総会が開催されました

多くの皆様にご協力いただき、まちづくり協議会が発足し8年になりました。平成21年には、各部会長を中心に役員会を重ね、付知地域まちづくりビジョンが仕上がりました。このまちづくり協議会は、県や市から要請して作られた組織ではなく、付知の地域から「この町をなんとかしなくてはあかん」という気持ちで自発的に立ち上げた自分達の組織であるという事をいつも念頭におき付知町民みんなで協力し合って自発的に活動していかなければ前へ進んでいきません。

4年前東日本大震災にみまわれ多くの命を失い、4年たった今でも自分の住んでいた場所へすら帰る事のできない人が多くみえる中、私達は色々な面において、暮らしも物の見方も変わりました。しかし、人間というのは良くも悪くも、あの時日本国中の人達が感じた事を忘れてしまふ事が多くみられるようです。

平和に暮らしている時は何も感じなくても、事が起きた時一番大事なことは地域の住民が知恵を出し合い自分達の町を守ることです。その為には日頃から地域の住民が協力できる体制を作っておくことが大切です、もちろん事が起きた時の為だけでなく日頃から自分達で動けることは動き、住みやすい町にするよう努力する事がこの町を元気にしていく事と思えます。

実施までの2年余り役員の皆さんは大変でしたが町内の情報無線です、22年度に区長会とまちづくり協議会が全町民にアンケートを実施、実行委員会を作り町内地域を回って説明し、東海地域では初めて地域住民が自分達の力で成し遂げた事業です、他の地域への注目度も高く視察も多く受けまわりの町村へと広がって行き自身がついた取り組みの一つだと思えます。

付知中学生とまち協との意見交換会も昨年で5回続けています。校長先生を始め先生方には教科の授業だけでなく、付知の住民が安心して生き生きと暮らすためにどう関わっていくかという、生きる教育の面に力を注いでくださっていることに大変感謝しております。中学生との意見交換をして毎回思うのですが「自分達の町は自分達で作る」という町づくりの理念が私達大人が思う以上に若くて柔らかい中学生の素晴らしい洞察力で多方面からいかにしたら住み良い町にできるかという提案を具体的に発表してくれる中学生に感動します、中学生の時代に自分の住む町を考える機会があるのは、付知の将来につながる事だと思っています。

順調に活動を広げているのは、付知銀座会の若い人達です。平成23年に自分達の住む商店街を活性化させるため、プランターに花を植え商店街をきれいにする取り組みを始めました、定期的に行われる、銀座マルシェでは小さな子から若者、お年寄りまで付知銀座に呼び込みにぎわいを見せてくれます。

付知銀座の手作り絵地図を見た事はあるでしょうか、細かにわかりやすい親しみのある絵地図です、昨年県から付知町まちづくり協議会の取材に見えた折にも高い評価をいただきました。私達は若い人達のように動くことは出来なくても「見守る」こと、「応援する」こと、「参加する」ことで後押しができます。若い人達の芽が育つように応援していきたいものです。

若者はかりではありません。付知町にはまちづくり協力隊として欠かせない老人クラブの存在があります、まちづくり協議会主催のボランティア活動の他、国道、付知川の美化作業、恵翔苑の奉仕作業、小学校の見守り活動、環境整備、ふるさと学習等、昨年は「永年のボランティア活動」に対し県労連会長表彰も受賞されました。

毎年行っている手作りの敬老会など、どれをとっても、行政・区長会をはじめ本当に付知に住む方々の協力のおかげでやれる事はばかりです。現在工事中の中央橋は、数年前の時点では予算の無い財政の中新しく架け替えることなど誰もが思ってもみなかったことです、しかし大災害が起きた時などこの橋は欠かせない大事な橋となる事は間違いなく、区長会、まちづくり協議会、合併後の付知審議会の要望に市議会議員さんも動いて下さり中央橋が新しく架け替えられることになりました。個人の力は小さいですが付知中の組織がまとまって動くことによりこんな大きな事業もできることは大きな自信を持ってても良いとおもいます。

大きな事を叶えるためには、ただ要望するだけでなく日頃から自分達でできる事、動ける事は自分達で協力し合って動くという、まちづくりの基本的な部分を大切に活動しなければならぬと強く思います。どうか、自分達のやっていることを地域に浸透させ一人でも多くの住民の方々が自分の事として協力し、行動していただけるよう働きかけていきたいと思えます。

また、いつもお願いしておりますが、まちづくり協議会の運営費は、町民の皆様への寄付と春、秋に行う河川敷の草刈り作業の補助金が財源となっております、寄付というのは不安定な財源ですので、寄付だけでなく安定した財源確保も今後の課題とは思っておりますが、町民の皆様にご理解していただきまちづくりの為の寄付の協力をいただくとともに協議会を運営していく為に不可欠なことです。

ご寄付いただいた方々の尊い志を無駄にすることなく、本当に町の為に必要な事に予算をつけ付知に住んでいる方々が安心して暮らせる町にしていく事で、この協議会が多くの会員の皆様に認めて頂けるようにお願いいたします、あいさつと変えさせていただきます。(会長あいさつより抜粋)





## ～つけちひまわりプロジェクト～

今年もひまわりの花を楽しんでください。  
6月5日に付知保育園の園児、一般の方  
6月8日に付知のぞみ幼稚園の園児、  
お達者クラブのみなさんにひまわりの  
種まきをしていただきました。  
今年も大きく、きれいな花が咲くよう  
に手入れしていきます  
皆様のご協力をお願いします。



## ～中学生の郷土料理実習に参加～



こびちゃんでは、付知中学校の2年生の郷土料理実習に参加させていただきました。今年、6月22日と23日の両日に、ほうば寿司に挑戦し、こびちゃんメンバーのアドバイスにより各グループとも時間内に美味しいほうば寿司をつくることができ、試食して実習を終了しました。



## ～ホタルの名所を守りましょう～

平成24年河川敷の谷で、蛍を自然に増やそうと取り組みを始めて今年で4年日本町町内会有志の皆様方の努力が実り今年もたくさんの蛍が飛び立ちました。年々増えてきて、今は谷だけでなく、川や町道など広範囲に飛ぶようになりましたが残念な事に、蛍を持って帰る人、車のライトを付けて蛍の繁殖を邪魔するマナー違反が目立ちます。マナーを守って蛍の舞を楽しみましょう。



☆真冬以外草刈りや環境整備をされています、皆様のご協力をお願いします。☆



まちづくり協議会では今後も皆様のご意見を伺いながら、大切な寄付金を有効に活用させていただきます。ご意見等ありましたら、事務局またはホームページまでお気軽にお寄せください！







# ～平成 27 年度事業計画・予算概要～

〈平成 27 年度はこんな事業を計画しています〉

## ◆主催事業

### 【総務企画部会】

- 「まち協だより」発行（6回） 150 千円
- 付知町新年会 50 千円
- 若者によるまちづくり事業 100 千円
- 地域環境整備事業助成 150 千円

### 【生活福祉部会】

- 敬老会 520 千円
- 健康ウォーキング 10 千円
- であいふれあい絆づくり事業 50 千円
- 女性活動母体づくり事業（花植栽） 120 千円

### 【農林商工部会】

- 先進地事例調査事業 40 千円

### 【教育文化スポーツ部会】

- ふるさと巡回ツアー 70 千円
- 中学生との意見交換会 30 千円
- 文化財・史跡顕彰碑設置事業 300 千円
- スポーツレクリエーション祭 150 千円
- 文化芸能活動支援事業 50 千円

## ◆事業補助金

- つけち夢まつり補助 100 千円
- 河川道路清掃活動補助 50 千円
- 文化財保護活動費補助 50 千円
- 付知町スポーツ少年団駅伝大会 150 千円
- 付知川魚つかみ大会 150 千円
- 子ども体験学習事業 50 千円

## ◆協賛金

- 付知町書き初め大会 6 千円

## ◆その他事業

- 会議費・事務費・旅費 1,385 千円
- 予備費 413 千円

平成 27 年度予算合計

4,144 千円

# ～平成 27～28 年度まちづくり協議会役員名簿～

役 職	氏 名	部会長・副部会長			
		部 会 名	部会長	副部会長	副部会長
会 長	早川 正人	総務企画部会	岸 郁夫	早川 康之	
副会長	三浦 源三	生活福祉部会	加地すみ子	長谷川 透	
副会長	伊藤 公平	農林商工部会	吉村 象作	早川 久雄	伊藤 文郎
会 計	早川しげみ	教育文化スポーツ部会	伊藤 良和	粥川 菊夫	所 宏昌
監 事	土岐 欽也				
監 事	加地美喜子				

